

冊数 16

区 分	引 継 公 文
課 名	營 業 課
種 類	調 査 物
冊 名	金 融 經 濟 月 報
保 存 年 限	永 久
起 終 年 月	自 昭 和 17 年 月 至 昭 和 17 年 月
引 継 年 月 日	32.5.24
廃 棄 予 定 年 月	昭 和 年 月
保 存 番 号	10
箱 架 番 号	

区 分	引 継 公 文
課 名	營 業 課
種 類	調 査 物
冊 名	金 融 經 濟 月 報
保 存 年 限	永 久
起 終 年 月	昭 和 17 年 月 至 昭 和 17 年 月
引 継 年 月 日	32.5.24
廃 棄 予 定 年 月	
保 存 番 号	10
箱 架 番 号	

店內資料

各課長

支店長

次長

月中 至融 概況 (十七年七月)

營業課

17.7.14

製法家種並、引去、曲後整期、有、曲後整方面、總入減去、其他季末

支店長 田中 敬

貸出需安等之より、月中、預、延、伸、力、不、減、一、方、貸、出、の、春、節

貸出需安等之より、月中、預、延、伸、力、不、減、一、方、貸、出、の、春、節

貸出需安等之より、月中、預、延、伸、力、不、減、一、方、貸、出、の、春、節

貸出需安等之より、月中、預、延、伸、力、不、減、一、方、貸、出、の、春、節

貸出需安等之より、月中、預、延、伸、力、不、減、一、方、貸、出、の、春、節

貸出需安等之より、月中、預、延、伸、力、不、減、一、方、貸、出、の、春、節

込判の依り現任需要著減が見込まれる。斯く現象の甚るる昨

一実績の微少に春後代至一九九パーセント迄が引出されき留り

皆無の近かりしを以て、各信用組合が支那準備の厚みと

を原因アリト見らる。乍併、農村方面に於ては四月末の梁園転

助成等各種補助金の交付滞延も頗るあり且つ主要

購入

物資の産組強振格と支那の多量に現案を以て枯渴ヤリ

トの見られざる収に比較的連カナルモノト豫想ヤリ

斯く購置資をトシテ、現任需要多かりし半面、月中至厚

米押下代至郵便同過起米等が首ナトシテ引揚起過

支店管内

支店長

次長

丹中支店概況 (十七年七月)

一、概況

月初三花ヶ山隣保消化馬場、徳方代金ノ拂込 (臺上高台計)

三、八九四千円) あり、農村ニ花ヶ山春巻以金ノ還流ニ主トシ

ハシカ引張ヤ字株市切ノ状況、影響御音アリ。子庫迄、落

布ニ目おしきエノ大キヲ映シ、月中貯蓄増勢力鈍リ

以上、大製業以助(片倉)ノマトマリ、引出ヲ見テ、三十日現

17. 8.

長報年報金額

二億六千五百二十一万六千円

前年比 六万六千七千五百四十九円、増減 7 割也り

左期は百三十一万六千四百六十九円

年初末六日未迄ノ累月諸税金ヲミルニ、基礎税金

季平均的影響額等ニテ増勢條件等、辛クハニ減少ノ増進也

底ハ杜絶ナシニ、税金税率、郵便料金、赤字ニ割一介、後

者一割五分ト堅定ナシ上界ヲ見素也。郵貯ノ平強新

的貯蓄増強ニ伴フ税金細則等者手段トシテ今後研究

二増加ノ途ヲ辿ルニシト謂ヒ得ヘクモ、鑛行積金ハ、積入
 増徴ノ増徴率ノ内題。積入積金者氣速ニ於テニ取リ
 上ニ見ラレハ、積金者貯蓄積金ノ限ナラシムルニ不致、積期
 一或果テ牽引ルニシテ一積ノ効力ニ去テ、積入ニシ。

鑛行積金ノ日二十日 跡言	示は者地
当座 四四三六一 九日	一三二
特当 七三、五三三	一三二
定期 一三、八四、五八	一、一五九
其他 一、七、一四	一、一五九
合計 二、五、二、一七	一、一五九

去年の三十四十方八千九百三十三万五千七百九十九円
（三・一％）の減少に上り居り。この總体的な苦減を
よ上見入る。

製造業の増減以外に一般の修造の加工組立等も若干の
減少を見られる。特に土木建築の減少が著しく、前日比
以上減少の一回収中、建築上の需要は、前日比
の如し。

三、当座勘定

(一) 貸出

その日未中央金銀中物(銀)此多呈しまるゝ大口取大先

手付十ニハ金銀の一手つマラ生じ月初当座取手ニ百力

用ノ借大ヲ得テ銀系を金ヲ貯ヒタムカ、其後銀金ノ

相流系記ノ如ク登、年許六郎届化ヲ来シ

訂書の当座金(銀系系、米未古新、月未次

完、市價初方購大(銀系系)ノ大部ハ能シト当座取日ノ借

大ニマタナルヲ得ルハハ状態トナリ月未以空出操高六三
千(前年台期二十万・但シ上存解)ハ檢メテ異例的現
象ヲ現ハセリ。

(三) 為替

貸付、果内計商會金ニ百五十万トナリ、本張ヨリ、送金
ニヨリ、同額ヲ貸送ニテ平衡、ハ十二ハ、百五十万ト
ナリ、果内計、得金元、月部マネリ、送付ニ、二百五十万ト
ナリ、百五十万トナリ、大出、果送アリ、二百五十万トナリ、出、超トナリ

總額

流入

五九七〇四

流出

七九四〇

上表引高九十一万五千七百七十九元
尚月末残存一三

一、九百九十九年三月三十一日
回收學費收入合計一、九〇〇

完す。

(三) 國庫勘定

(月中)

支

退却金

一、五九〇

陸道収土善

五七五

租稅

一、一〇七

預金

五九四

軍手當

五一四

文部送金

一、九四

(赤字)

未押下代 〇、一、三、八

各種補助金 七、三、二

其他共合計 一、九、四、五、三

其他共合計 一、五、三、四

差引引揚額 一〇、九、一、九、千、円

(四) 送捨券

諸事情上記の如く製紙業計兩年度の送捨券は二、一、百、五、十、万、円、あり、

税金の必要上七、三、三、及、而、未、送、代、額、引、上、多、額、に、上、り、

レ、以、此、種、類、送、捨、券、の、引、上、額、を、収、入、に、納、入、し、納、入、額、七、百、四、十、万、円、

月、支拂、四百五十ト入、起、三百四十万円、高、種、金、二、款、ヲ

入、撤、布、之、目、ホ、シ、キ、エ、ノ、無、干、及、面、引、物、多、ク、出、張、現、金、収

支、之、収、納、四、百、十、五、万、円、支、拂、百、十、万、円、ト、之、差、三、百、五、万、円

ノ、入、起、ヲ、示、シ、該、為、息、控、券、ハ、月、中

入 一〇、五九二、四
出 四、一三七

ト、差、引、六、百、四、十、五、万、四、千、円、ノ、還、収、起、ト、ナ、リ、之、ヲ、以、テ

年、七、月、中、ノ、基、礎、比、之、シ、公、債、ニ、三、億、ノ、多、ク、キ、ニ、上、リ、タ、リ、ト

上

支店長
次長

八月中金融状況

17. 9. 1.

一 概観 月中金融資金ノ需要ハ金融市場ノ減退

ニ金融ニ比シテハ在りトモナリシガ、知れぬ事々金ノ新設

放出増減、米商賈ノ大口取込等アリシニ對シ、中央

銀行市場ノ強調ニシテ、一ノ回収アリ、換金ノ代理店

種目ノ引出又多額ニ上リ、且ハ、國債保有ノ増大ト

前月種金減少ノ影響有リ、且テ、手許金ノ貯蓄ハ、

行ハ、款金ノ為底ニ出出ヲ仰クニ至リ、月末出残高ハ八百三十

五万何ト止十二年ノ歴史以來ノ記録ヲ示現ニ金融
極大強調ニ越月セリ

然レモ一方後月國債保有額ノ減少ナルニ對シ、
一 細集ルアリテ、五千何ノ國債發行ヲ見タリ

二 税金 略下執行額在ハ前月七百二十五万七千四百廿七

減不見中、後ヲ承ケテ、金資金、其外金ノ是也

アリテ、是期ニ百零七万六千四百九十九増加ニ有テ、首トトシ

片倉製菓業ノ三百二十万並貯金庫ノ二百四十万(幣名)

ノ右記額ヲ算アリテ、三月日現在ニ貯金ノ八百十七万九千四

増加の前月、減少の儘に為余りあり、然し先般

株式市場、況況に浮動資金、大部分の其、方面に

収せんとす、如く新設の税金、貯蓄の増進、及

薄く、又産出、減少、農作物、田手、意を相習す、

上季期中、如く力強中、伸張の困難、

銀行預金 (八三。現在)

前月比

当座 四六六三四

特当 七六〇一三

定期 一四一、二八九

其他 一三、三八二

計 二七二、三二八

一、四一九

三、八七三

三、三七六

三、一〇一

八、一七九

三、此出 ① 新在系資金、前月、引續、

1. 臺灣の足り心下 夏の蓄積金 / 新規放出 / 9月 / 30日現在

(前年同月比) 前年同月比 約二百萬円

2. 總計 44,507,100 円 / 前年同月比 約二百萬円

増加 / 又前年同月比 約二百六十八萬一千四百円 / 増加 / 約

差額減少 / 結果要約 / 減退 / 約

蓄積金の減少 / 前年同月比 / 約

總計期以降 / 八月 / 中央 / 約

前年	63,594	49,717	13,877
本年	48,866	36,980	11,886
増減	14,728	12,737	2,000

② 一般世帯 / 約

約二百五十万円アリ以外、日本に在る金は前月より
 比し八十三万八千円ヲ減少セリ

貸出金(比)三〇現在)

本月

前月より

新借入金

四三七一八千円

一九八五千円

其他

七四五五七

計

一一八二七五

一一四七

四者底勘定

八、九、十、月、中、前、述、ノ、如、ク

A. 新借入金ノ首大可成ノ新設放込ノ足ルル上

B. 國庫金ノ貸出ニ若シテハ、比前月より引出ハ

千五百五十五万円 (程) 大四百三十三万円 差引七百五十五万円
引出超過) / 多額を上リタリ

中央金融市場 証券類 / 影響が少く、
思ひにカラカハ / 三月末以降、相場の引上り超過セルト

國債保有 / 増大の急行 / 年許 / 余裕が少く / 準備 / 事情

千五姓 / 高松山 / 出ハ / 月 / 中 / 取 / 算 / 八百四十五万円

ヲ記録 / 月 / 末 / 繰 / 算 / ハ / 八百三十五万円 / 卜 / 岡 / 本 / 大 / 蔵 / 長 / 以 / 下

(千四百四十五万三千円)

以 / 率 / 高 / 額 / 上 / リ / タ / リ

二 / 古 / 本 / 前 / 月 / 出 / 算 / 及 / 繰 / 上 / 再 / 心 / 三百六十五万円

トナリタル所 中央市場ノ硬調ニ下 直接関

係深中八十三銀行ハマズ一ノ通済ニ月尖以降ノ流出

ニ轉シ 金繰盤高忙ノ一因ヲ成セリ

總計

流入	九、二五〇、四九	貸付	四、一五〇
流出	五、六〇〇		三、二五〇
大盤	三、六五〇		九〇〇

3. 國庫動向

總計

拂出	一、三六八、一九	自派分現金	一、三〇三、四四	種大	四、三五〇、四九
入金	二、三〇〇、〇〇		四、八〇七	引出	一、一五五、〇〇
差額	九、三三五		三、六〇四	出款	七、二〇〇

五十七日收支

支		拂	
過越金	八、五、九、四、九	本支店上代	一、三、八、三、四、九
租	三、一、一、四	分與金	三、一、八、二
拂下代	二、七、一、六	出賃代	一、六、五
		軍費	三、七、四

4. 銀行券 國庫券 撒布の前記ノ如ク 地方分與金

ノ三百十、月及本支店上代ノ百二十八、月、際中、八、微、九

々、之、對、シ、多、大、ノ、過、越、金、ノ、八、百、六、十、万、九、千、九、百、九、十、九、

円、及、拂、下、代、ノ、二、百、七、十、万、九、千、九、百、九、十、九、

支、出、額、ハ、九、百、三、十、五、万、五、千、九、百、九、十、九、

儿 张 某 行 有 券 连 出 以 能 以 一 五 百 七 十 五 万 四 千 四 百 一

前 年 日 即 一 四 十 八 万 六 千 四 百 二 十 九 元 一 十 九 元 一 十 九 元 一 十 九 元

ト 七 二 〇

五〇五七	五〇五七	五〇五七
九四九八	九四九八	九四九八
一〇二二	一〇二二	一〇二二
五七五〇	五七五〇	五七五〇
四八六	四八六	四八六

以 之

◎ 四 二 八 月 十 五 日 理 立 各 行 子 位 保 有 率 (张 德 全)

儿 十 二	三 四 〇 四 〇 %
银 田	三 三 〇 八 〇 %
上 伊 那	三 九 〇 三 〇 %
信 商	二 五 〇 〇 %
	三 五 〇 一 〇 %

支店長

次長

九月中旬急報

17. 9. 30

一、概観 前月右行「海軍省」の急報に際し、概月一

修り、概月一「引揚」中、概月一「概観」概月一

概月一「引揚」概月一「概観」概月一「引揚」概月一

概月一「引揚」概月一「概観」概月一「引揚」概月一

概月一「引揚」概月一「概観」概月一「引揚」概月一

概月一「引揚」概月一「概観」概月一「引揚」概月一

概月一「引揚」概月一「概観」概月一「引揚」概月一

見白にか下向の丁リノ一頁の學路の月書踐育九百
四十五万円ノ餘賦也リ

カ、ル金融疎化ノ原因ハ一ツハ前記ノ地事直接
的諸條件ノ影響有ルヲ明瞭ニ示シ、其ノ基底ハ

有価証券和中國債保有ノ増大ニ俾フ彈力性ノ

甚大ニ在リト謂フ、此ノ邊リ銀行信託

ノ發展ヲ早暁ニシテ、其ノ如シ

之趣ノ如キ金融學說ノ及、其多數學說比較的關係

少々多額な積蓄を以て、約二十万円ノ負債を却り見たり

子德別冊

一九二五年

當私分

一九〇九

心記私分

一一〇

郵便局

五〇

計

三五〇

(大家手帳の五千万円下折込)

二種

目録二平種全簿録一巡上、目録二種二種ノ中、

（同種一冊白紙ノ下リ）

現行帳ノ一減減簿ノ新簿並西建種全本月種全ハ

伸縮子ノ括ノ是ニリ、其米必全ノ遺流、轉産業者

二種三三至生全庫在、収収等今後相与有力ナリ

簿録ノ期行廿二、強中、總統ノ是ニリ

九〇。改定

八。米比較

本店 四一〇日一四

一〇〇〇〇日一四

新書 七六八一五

二、二五八

定期 一四三、七九九

七三七

互換 一三、五三一

五二五

計 二七五、一八五

二、四九五

三。出 雑誌発行部会に 前日書院の 昨年 前日発行部

の 額 一、一 後 雑誌発行部会に 放貸 一、一 九月三十日

現在 四千六百八十方 八千四百 前年 二、二 七百四十一方 二、四

千 之 額 一、一 後 雑誌発行部会に 放貸 一、一 九月三十日

前日発行部会に 昨年 一、一 前日発行部会に 放貸 一、一 九月三十日

雑誌発行部会

若くは中絶手術の早期に手術的治療を施すは其の功効が著しき事

也。其の目的は、妊娠の早期に手術的治療を施すは其の功効が著しき事

か。就中、中絶手術の早期に手術的治療を施すは其の功効が著しき事

或は、中絶手術の早期に手術的治療を施すは其の功効が著しき事

の功効が著しき事。就中、中絶手術の早期に手術的治療を施すは其の功効が著しき事

起る。其の目的は、妊娠の早期に手術的治療を施すは其の功効が著しき事

近接する。此の目的は、妊娠の早期に手術的治療を施すは其の功効が著しき事

①

手術的治療の功効

一月間 四六二七四

手術的治療の功効

手術的治療の功効

九〇五七四

手術的治療の功効

求
リ
係
似
五
五
五
リ

二
有
替
本
同
業
者
下
同
上
カ
中
央
市
場
一
時

終
知
マ
ネ
小
取
入
進
捗
五
百
万
円
迄
セ
シ
ル

月
中
大
取
入
百
三
十
五
万
円
十
萬
圓
一
事
務
取
成
三
十

ア
リ
リ
タ
リ

右
月

左
半
日
月

流 入	一 百 三 十 五 万 四 千	七 月 五 日 四 千
流 出	三 五 五 千	二 七 〇 〇
大 取 入	七 〇 七 〇	四 七 五 〇

3
國
庫
動
態

① 現金收支

支	10,381.49	19, 白石台地會收支	總計	1,200.49
拂	10,379	2,961.49	引出	8,510
多起	10,000	451	總計	7,010
		651		

② 現金收支

支	7,592.49	軍務費	777.49
物	1,017	船運	745
倉庫費	2,498	農林	255
船運	1,565	保健	243
		土木	90.4
		軍務補助	150

中 銀行券

如 / 如 / 中 / 子 / 庫 / 收 / 支 / 及 / 明 / 示 / 銀 / 行

券 / 二 / 百 / 五 / 十 / 萬 / 三 / 千 / 四 / 百 / 一 / 十 / 元 / 還 / 銀 / 券 / 二 / 萬 / 零 / 九 / 百 / 零 / 五 / 元 / 前 / 年 / 同 / 月 / 分

田石分月一毫起十毫起比之若二十毫者

早二白

本月	五八六七	五八六
前年同月	九七六九	五七二四
差收	八三二〇	四〇五五

支店長

十月申合融概況

概況

概況 月中前半程在預金ノ残額放出、依然之ニ預金ノ不

勢ノ急行ノ年許後及ニ、携テ、預金底ヨリ、引揚越過

五百八十万円ノ多額ニ達セシメテ、其行ノ如平ハ般高程及過

東急ヲ迎フニ至レリ、今迄前月末九百四十五万円ノ繰越

シタル事ニ他無出ニ、一進一退ヲ繰テ、今ハ、勢在急行ノ途ニ

月去ノ是前高トシ、回収期ニ轉リ、今ハ、後半ノ漸ク急行ヲ見

テ、同以降、百十五万円ノ返金アリ、猶ニ然ル所ヲ同中ナリ

而シテ、急行ノ途ニ、今ハ、同降ニ伴ヒ、急行ノ途ニ、急行ノ途ニ

17.10.2

足元へ少く年四二概五皆新へ足元十元か如し

此十如く皆屋線り極多懸子此十元裡果行、今孫

子債約五十万圓ヲ借取也

〇 借入

借入	10,000 現在	九、七〇〇
当座	10,000 八五	八、一〇〇
預金	七、七〇〇	三、七九七
定期	10,000 五八	三、〇〇〇
出金	13,000 九	1,000
材料	1,000 五	八、四〇六

借入総額八九月前より、亦有八十日乃至十日後借入一、七〇〇

内定期借入約六十万圓、十日後借入一、七〇〇、是如記帳

増加の三万八千圓の取立は是より優りて三万圓位なり

仲指の二萬圓に對して、その原因は勿論日本に

能く経路の通、或は証券投資の流出、証券市場

の不利等外立の事情、影響は尙ほ甚しきに於

て、銀行の多量の貯蓄、一層証券市場の

流動性を擇ぶに或程度の日り、或果して証券市場

の減少に或るべき事

三、代出 証券市場の十月十五日残高五千百十萬圓

は、前年より回収の額より、前年より前年十月三十一日

四十五百三十一万四千四百〇〇比之ハ、本年七月早ク、五百八十万

六千四百九拾九百〇〇リ、總シトモ、在表ニテ、子ニ如ク、請地期

以降、新現放出能進業際、同収額ハ、何レモ進在相々年

〇比ニ減少シテ、年々、減額一措、貴ハ、進在業際、一ノ上、減額

無量減額、録集一、進在、カ、甚、引方法、一、及、比、相

信、一、カ、以、現、在、年、九、九、九、一、ト、見、ラ、ル

年別	前年比	当期	増進期比前年比	同上年度同収	現増加額	比年①②
一九二〇	五、一、九、〇、四、〇	一〇、一、五	八三、五九、五、四〇	五、五、三、八、三、〇	二八、三、三、〇	六六、二
一九二一	五、一、九、〇、四、〇	一〇、三	一一、八、四、三、五	九、〇、一、〇、〇	一〇、〇、〇、〇	七九、四
一九二二	五、一、九、〇、四、〇	一〇、五	一一、五、三、五、五	七、一、〇、〇、〇	四、三、五、〇、五	六二、一
一九二三	五、一、九、〇、四、〇	一〇、七	一二、〇、二、一、八	七、〇、〇、七、五	三、九、〇、〇、五	六五、八

般出の紙代同倍増は、本報の発行部数は、前年より

増え、前月より前月より二倍、前月より七倍増の増えり

四書五經

一般出 前月より九百六十五万円増の増えり

紙出の増えり、如く、前月より、紙部増の増えり、同日より八十

万円増の増えり、前月より、前月より、前月より、前月より

増の増えり、本報の発行部数は、前年より

前月より、前月より、前月より、前月より、前月より

前月より、前月より、前月より、前月より、前月より

増の増えり

2. 右指

右指は右指上と等しく右指百五十八円

1. 下指は右指より七割八十二円八分六厘

下指は右指より七割八十二円八分六厘

七年

前年同額

下指 五、七、一、〇、四、九

八、〇、五、〇、四、九

下指 四、〇、〇、〇

四、一、三、〇、〇

下指 一、七、八、〇

五、九、二、〇

八十二銀行

七年

前年同額

下指 五、五、五、〇、四、九

五、五、五、〇、四、九

下指 〇、〇、〇、〇

五、一、三、〇、〇

下指 五、五、五、〇

五、二、〇、〇

3. 右指

總計

多 一、六五〇 / 九、一九

博 四、三〇七

多 七、二九〇

五十九收支

收

進德堂 四、四八七 / 九、一八

饋送 一、五八一

牙 五、二〇

院 二、四一五

未詳代 二、五三二

計 二、一三三

自修房現存

二、五二六 / 九、一八

五、四〇

一、七八六

支

院 四、六八 / 九、一八

饋送 六、八〇

牙 五、二〇

有異食 一、〇五三

未詳代 一、九一九

院 一、〇九

三、一〇〇

此種

禮大 四、〇〇 / 九、一八

引 六、二〇〇

出 五、八〇〇

中船行

五、一九

一、六五〇 / 九、一八

一、七三三

五、一九

一、六五〇 / 九、一八

一、七三三

神師堂十経我知

本年

前年日額

後 三五〇九二

拂 〇五三九〇五

拂 五八八〇六

能行者の首記子陣御金収支の及此の年八月三十

以書に首記の収支

七月十四日より五日迄の年日額、約五倍あり

年初末迄の収支、約七千万円の上りあり

Handwritten title: 12-1-1994 3000 (3000)

P	12/1	4194	3000	6528
A	12/1	1456	3000	6300
P	(12/1)	1831	3000	1000
P	12-2	3097	1100	1500
P	12-2	1100	0	
A	12/1	139	3000	6197
P	12/1	4054	3000	7200
P	(12/1)	4231	3000	X
P	12-2	700		
P	12/1	309	3000	755
A	12/1	496	3000	1300
P	(12/1)	1524	3000	600
P	12-2	509	3000	X

+	ML 4	1363	ML 4	49975
+	ML 4	318	ML 4	300
+	ML 4 (200)	1365	ML 4	1000 X
+	ML 4	2550	ML 4	

三
支店



次長

十日中全額概況

17.11.30



一 概況

日中製紙業貸入、因歸一控トテ、昭調ニシテ、

月初末五百二万一千四百(二十日現在)ニテリ、コトヲ考メ、

ニ概況ハ、前月末ニシテ、六百九十五万一千四百(二十日現在)

増トス方振リ、好況ヲ示シ、外、國庫貸入數亦、

中同業以降、遂に進捗ニシ、久シク蓄金餘リニ

情ニシ、各行ノ減リ、年終ニ至リ、高工業、強固ニ方

ニ、弗レ、新視、需要アリ、元々、高紙、進、危、著

27 遊抄
 常務出歩残高の減少に連り
 連り
 多

第一三銀行の取手、手許現金の切詰十二、

百五十万円方名債額十二兆千八百円末手許

逓進方、新二千五百万円、当座出金等御の二五〇〇〇〇〇

一 取引先銀行移付金 (二百現在)

当座	四三、一五〇、四一〇	十日末迄	備考
振替	八三、五五〇	七〇〇〇〇	
定期	一〇三、九五三	五三〇	記号当座満額あり
現金	一〇、二一七	三〇〇〇	
計	二六〇、九七〇	六九五〇	（若年当座中債加算） 三〇、一〇〇

一、本國之銀行業，其勢力之擴張，實由於此。...

日中、俄對華事業，其發展之速，實為各國所罕見。...

各行之發展，其動力之增加，實由於此。...

其之方力，其之顏色，其之勢力，其之影響，其之銀行。...

銀行之在日下，其之勢力，其之影響，其之銀行。...

在十自說之，其之勢力，其之影響，其之銀行。...

今後之銀行業，其之勢力，其之影響，其之銀行。...

一、本國之銀行業，其之勢力，其之影響，其之銀行。...

不費一毫圓之，其之勢力，其之影響，其之銀行。...

七

二 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一

二 園形引一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一

一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一

遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一

遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一 遊覧船一

23

三 引 起 帳 簿 出 出

十月廿九日現在

現金 四〇八九一四

債 一〇〇〇〇〇〇

計 一〇〇八七九一

十月廿九日

五〇〇〇〇〇

一〇〇〇〇〇

一〇〇八〇〇

現金 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇

債 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇

田舎新報

① 10月歩・前月末より百五十万円の増減あり、高騰地盤あり

11月中旬手許現金は、通貨増持に七百二十五万円

7月増少に7月前月末の現金増持より、関係なし

25万円の増持あり、現金増持あり、ね

八五
二五〇四〇

増持
四〇〇〇

前月
三三〇〇

増持
二〇〇〇

計
一三〇〇〇

② 有替

戸口已定... 戸口已定... 戸口已定...

戸口已定... 戸口已定... 戸口已定...

戸口已定... 戸口已定... 戸口已定...

大出	九九〇〇	一一〇〇
出	一五〇〇	一五〇〇
大入	一一四〇〇	一五〇〇〇

戸口已定

大出	一一〇〇	一一〇〇
出	一〇〇〇	一〇〇〇
大入	一一〇〇	一一〇〇

戸口已定

戸口已定

子摩屋 物取の申向物取掛 物取掛 9月2日
 (他方分金屋一選は二割付金)

日中 三石平内、引掛船道止り例日

比平若のり船取也るり、取平船行書元下向

の能平の物取のり船取 9月2日

④ 船行書

家	申向	申向	下向	計
四五七九	二四九四	一一五七	八二七六	
佛	五三	一五五八	五五三〇	五二四
差引船道	四四六二	八三六	六五七四	二九三五

十	九	八	七	六	五	四	三	二	一月
五	三	五	七	六	三	九	五	五	二
九	三	五	七	六	三	九	五	五	二
五	三	五	七	六	三	九	五	五	二

能行青邊起批况

十	九	八	七	六	五	四	三	二	一月
五	九	〇	〇	一	九	〇	七	五	八
五	九	〇	〇	一	九	〇	七	五	八
五	九	〇	〇	一	九	〇	七	五	八

因庫尾揭批况

17.806
12.211

支店長

次長

年未査定金課部長

十二月中金課状況

是年度は、現金手拂の不振が最終日22日迄、

累年二七、三五五ヶ月ト前年比約二十%増著也。回来

、此季節の滞滞は、冬季の資金手拂の不振に、斯

資金需要の急増、一般物價高騰に、因り、税金

増徴の増大、農産物代金、振替押引に、依り、

二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、

18. 1. 4

一、貯蓄増勢依然平調 卜 貯蓄の急増

十二月の目押し平準蓄貯蓄の急増、米債共紙金を一元的に増

貯蓄の振込の急増、依然貯蓄貯蓄増勢鈍化、中旬迄

二貯蓄の急増、貯蓄の増加、振込の急増、昨年11月

足並の急増、高水準貯蓄の昨年11月、増加の急増

起、下、二、今年、の、急増、の、急増、の、急増、の、急増

貯蓄の急増、貯蓄の急増、貯蓄の急増、貯蓄の急増

貯蓄の急増、貯蓄の急増、貯蓄の急増、貯蓄の急増

以上二道ハニ關係 加味セリシ前記記気需申外ニ新度之

(録ハ年未)

山登気年當ハ中央ヨリ短略取テノ外商ハ百ヲ比近クナ

在何ノ倍大ニ倍ワエトナリ年裁殊言并前年比五十力

月ノ増加トナリ。

三製茶業気田収増

製茶業気田収増

張ノ包白ニ、十月未迄出最末期(採言五ノ百二十力也)以本の

上中甸迄ニ千四百千力ト二十九%ヲ減少(前年ハ

55

十%) 也。尚望其卷完。卷中若統制核能(一)係
 卷中、計畫生能地以事甚、卷中即的性核、若此、再能
 也。しつ、ア、ロ。

四年末高次核景况

一、核、核物、思、高、部、考、也、也、不、均、性、考、不、足、也、上、地、方
 二、核、下、之、交、易、の、需、同、性、都、市、の、如、く、略、著、十、三、十、の、子、也、ア
 三、年、末、高、次、核、の、考、上、核、制、の、考、カ、ラ、不、容、疑、的、考、是、比、較、的、考、也、ア
 核、制、の、下、り、尚、近、期、遊、歩、地、也、別、車、制、限、の、結果、ア、リ、テ

力一校之自來氣味之味
50

支店長

次長

月中尾組概況

概況

山崎銀行素定額香い二千九百二千七百三十万の内

前年未二比二四百八十万の内方増加七比七

年一二年後二能千比是収括其い四六七一三〇百多

以千一千二百二十万の内概十千昭額九後概七比七

中後月未迄二控千比要計い三千二十万の内

首尾行二封二二〇七九〇ト前年比一三七二九〇二比

比山崎銀行一〇〇リナリ

18.2.1.



物しん此旨依... 記帳... 事也... 事也...

資... 一回... 事也...

三百六十... 事也...

事也... 事也...

事也... 事也...

事也... 事也...

事也... 事也...

事也... 事也...

事也... 事也...

金庫の出入り
白千圓の入り
三萬五千圓
上付

(白千圓)

月中 政府券 割高 指比 百十萬圓 (一) 百十萬圓

銀百十萬圓 銀二萬圓 合計 銀百十萬圓 少額 千圓 千圓

一万圓 千圓 百圓 十圓 一圓 合計 一万圓 千圓 百圓 十圓 一圓

千圓 百圓 十圓 一圓 合計 千圓 百圓 十圓 一圓

月中概況(昭和十一年一月)

一、臨時金

銀行預金引続キ伴ハ恒ニ増様、二十日現在同文會
預金ハ昨年未比百五十万、減少ニシテ、十七年、十六年
合計ニ夫々三百五十万、二百五十万ヲ増加セルト相照セル
統局月中増加額旧來ニ及ハカシ下シ。惟右減少ハ織造製
品配給上ノ需要増大、同業者預金引物等ヲ主因トシテ要求
増大ニ由リ、減少ニ在リ、定期、特當ハ前年ニ比シ大差ナリ
増大ニ由リ、乘親材料等ヲ提供ス。

十七日衣料等消費額引上、租税増徴案ノ発表アリ、
之ニ伴フ且減買込等金トシテ、銀行預金引去懸念セラ
レタリ、前者ニ於テハ定期トノ内際僅ハ一日ナリシ上、某
者、自肅的衣類消費ニ依リ是服亦ノ売上若干増加セ
ル向アリ、是程ニテ買込増大ニ及ビ、租税古稅十二、後者ハ

稀少物者ヲ対象トシ向後税関係ニシテ今更物物
ニシテノニト無シトノ親深ク、輕快トシ購買力今ノ如ク
ニ是の銀行貯蓄ニシテハ先(新)ノ御者ナシ。

郵貯の別年一月大中ノ増加ヲ示スル例ナルが月々
還起金受入(一八五九千円、前年比百三十五万増)、貯蓄
掛出(一五万円、前年比一八万減)額ヲ推シ、納税増ヲ
考慮スルニ本年之尚増加幅補ナリト見ルべシ。

産銀貯蓄の本月供給未以迄、同奨励金三万五千円
見当ノ農村振布アリ、互面減少要因トシテ十一月引
取債方ノ拂込以迄約百三十万円アル共総額ヲ既取額
金ニ依存スル要ナカレバ、且一般ニ冬季在り不買ノ要無
シト下レバ三万五千円程ノ増加アリシモノト思ハル。

二、貸出

製糸直金は製糸家、春曉遷延、総白二石、抽引、繰り延、繰り、
 三下日迄、由收三万七千円、二達し、総繰り三万三千三百二十万、昨年
 十月、最期、期、繰り、三、四〇・七%、十、製糸、年、年、
 取、去、レ、二、二、倍、以、上、上、位、二、ア、リ、一、方、一、般、貸、出、ハ、繰、り、
 製糸、配、給、関、係、直、金、五、十、万、円、甲、中、心、二、ト、ン、子、美、直、金、
 五、十、万、円、其、他、手、続、関、係、手、続、千、ア、ル、ミ、ニ、シ、テ、目、的、ハ、キ、
 二、ノ、無、ウ、田、收、起、是、レ、結、局、迄、出、給、額、ハ、六、万、七、千、八、百、円、
 二、萬、七、千、セ、リ、斯、ク、テ、純、金、繰、り、上、レ、二、不、拘、貸、出、回、收、日、
 リ、一、年、利、ア、リ、種、々、放、出、二、向、ケ、ラ、レ、タ、リ、一、般、回、收、ハ、三、
 年、費、運、用、ト、シ、テ、B、B、モ、由、早、急、手、利、便、大、ク、企、図、也、シ、ス、
 面、白、カ、ラ、ズ、抑、制、シ、置、ケ、ル、一、月、二、十、日、迄、一、般、三、萬、七、千、八、百、
 借、入、入、借、也。

一 禮堂 (二百四十)

書房 一百七十

特寫 一百七十

金銀 一百七十

地盤 一百七十

針 一百七十

三百四十

一百九十

一百七十

一百七十

一百七十

二 右邊

長年

大 一百九十

後步 一百七十

去銀 一百七十

四百二十

長年

一百七十

一百七十

一百七十

三百四十

三子障 即通 (二十日現在)

此種記分 (現在)

自記分 (現在)

夕文 一〇、四、五、中、月

三、三、三

柳 三、四、七、〇

五、三、九

多 六、九、九、五

二、六、九、二

五子障 收

五

過 八、四、〇、二、四、〇

郵 一、二、八

信 一、五、七、六

信 一、四、〇

寄 七、六、五

寄 四、七、五

乾 一、四、七、〇

乾 一、〇、一、〇

食 一、〇、五、五

食 三、三、七

受		拂	
代理店	自店	代理店	自店
11,960	5,400	4,960	2,702
10,465	(0,201)	(0,470)	(509)
過超金	0,452	郵便局資金	120
鐵道收入	1,576	鐵道支出	0,400
專賣收入	765	軍費	475
税金	1,470	俸給	107
食管	1,065	農林送金	1,014
代領額	1,350	分獎金	0,27
引出額	4,419		
	3,066		

前年
本年

11,960
10,465

5,400
0,201

4,960
0,470

2,702
0,509

0,452
1,576

765
1,470

1,065
1,350

4,419
3,066

120
0,400

475
107

1,014
0,27

年
月
日

送
收
額
計

日
時
分

10
11
12

支店長

次長



月中金部概観

一、概況 各月以來銀行預金、伸力停頓状態

ナリ。各月ニテリ増勢ニ弱シ。概シ兼肩月間其タル

感アルニテ、増勢不強一平口更在。前月末ニ比シ

百八十五万七千円ト前年同期、二百四十九万八千円ニ

比シ概段、一息反アリ。一方短気過剰金未払

下代等亦玉碎金、引揚付引候才多致

ニ上リタルハ、月卸一時為証、部換三十万円

(後日追付)ナリ伸力タル向アリタリ

18. 3. 2

金、月中製糸資金、回帰款、回収、好
積、一般資金、季節的圓化、より漸減、
併、四百三十八万円、増減、見、八銀行、
半、漸、時、間、降、り、か、り、カ、タ、テ、余、利、
部、以、テ、政、府、保、証、興、債、五、十、万、円、既、時、範、額、債、
千、万、円、(五、十、万、円)、消、耗、り、見、タ、ル、外、三、百、五、十、万、円、
リ、二、千、一、十、五、万、円、交、当、シ、受、二、百、五、十、万、円、ハ、セ、
ニ、括、入、ス、ル、リ

本、如、ク、情、勢、ヲ、反、映、シ、月、中、銀、行、券、ハ、還、送、

順調に第1回配当額五百六十万円に前年

同期に比し四十五万円増博不

一、製糸事業の回復に基

致す、製糸事業は在りて最も急進せしむるや好成績

を挙げ、この協賛事業の議定中にして未だ既

定に達せしむるに計日となり、加力に情勢の中

景況を鑑み、昨月中製糸事業の回復に基

て、四月十日に前年同月、五百九十四万円に比し

増額に、昨年十月二十五日以前に比し、前年同

月同日に比し、四八〇%に及ぶこと、前年同

一般貸出(取引銀行)

二月、例年季節的国債期上り資金、買入

目録に於て、下り債の材料並に、証券取引

同様、本年所収要同ハル、至三ヶ所迄

百十、万三千円、減少、見多

後院

一、預金(三十日現在)

当預	四四〇二一、千円	一月末比	一、八三二、千円
特為	八四、七、七、九		一、五、六、〇
定期	一四、八、八、八、七		八、九、〇
其他	一七、三、九、一		一、三、三、一
計	三九、四、九、七、八		一、八、五、七

以下本行同俾
 二、为替(月末)

入	六四〇〇	七二〇	前年同月
出	七二〇	七二〇	
入	八二一〇	七二〇	
出	六四〇〇	七二〇	

三、为海勤(月末)

代理 现金 (现金)

自派令 (现金)

受 押
 一〇、一五二
 四、八四四
 五、三〇八

二、二九七
 二、〇〇九

收 (三、三三九)

支

過款 三、三三九

農林 一、一三七

未新下代 二、一九四

鉄道 一、八八六

租 一、八八一

栄産 一、八二七

鉄道 一、一九五

為 七二五

日銀年報(月末)

同年同日

發行

四、八三〇、四〇

三、七九〇、四〇

還收

一〇、四九一

九、〇〇二

還收額

四、七三九

四、三一二

以上三行の合計は、昭和二十二年四月二十七日の引渡
(者) 同日、上伊那、信濃、西の各地方、昭和二十二年四月
(者) 同日、上伊那、信濃、西の各地方、昭和二十二年四月

三、〇〇〇

支店長

三月十日



御手紙... 四月五日

昭和 年 月 日

西野用箋

No.

昭和 年 月 日

中央官庁事務 昭和二十一年十月一日

昭和二十一年十月一日

3 000

市債 5000

市債 5000

政保債 1000

政保債 1000

政保債 1000

西野用箋

No. 75

(一) 預金

三十日現在	前日末比	
当預 四三〇六九	四四二四	↓内、上野那、信及与所、 三、百五、方、日、合、 実、の、 三、百、五、方、日、 三、百、五、方、日、
特 八四七五七	一〇二四	
定期 二四九七四五	九五〇	
其他 二六六一一	四三三五	
合 三〇一八二	六七三九	

好、不、改、所、金、ノ、増、加、不、加、力、ナ、ル、ニ、
鑑、ニ、日、ヨ、リ、三、十、日、ニ、
三、百、五、方、日、合、

本、年、預、金、ノ、増、加、ハ、主、に、
定期、預、金、ノ、増、加、ニ、
由、リ、ト、ス、ル、ニ、
由、リ、ト、ス、ル、ニ、

農、村、ノ、長、年、貯、蓄、ノ、
増、加、ハ、主、に、
定期、預、金、ノ、
増、加、ニ、
由、リ、ト、ス、ル、ニ、

三、十、日、末、ノ、
預、金、ノ、
増、加、ハ、主、に、
定期、預、金、ノ、
増、加、ニ、
由、リ、ト、ス、ル、ニ、

昭和 年 月 日

西野用箋

所蓄源泉ノ培養ニ資スル關係様圖(年々)

一般ノ努力ヲ用ヒタルハ月初積ノ伸ニ極ニノ感

アリタルハ月果以テ増勢ニ抑ニタルニノ如クニイハレ

現在 三百二十万日ト前年全額ニ比シ 百廿日増加ニ多シ

・月初電掣的ニ三増短(如子短、大切短、想興飲金短)

之能ニシテ另 欲金迄市面ニ至リ、素是減少ニ

引換ハ一般源泉貯ニ若眼子 購置 欲金ニ至リ

不積リ尺ニシテ 購買力 欲金 短感ニ至リ 欲金ノ

短感ノ短感ニ依リ 短感ニ至リ 注目ヲ要ス

昭和 年 月 日

西野用箋

高野

○新年度に於て民衆の目標

十一年に於て民衆の目標として、新年度の目標として

二月十日の増加は、信口十日の増加、三月十日の増加

増加率一七・三%、二比三に、七・七%、一増位十の増加

本邦の至西界、特許の増加、考査、三月十日の増加

○目標の達成の期

増加の達成、本邦の至西界、考査、三月十日の増加

三月十日の増加、本邦の至西界、考査、三月十日の増加

三月十日の増加、本邦の至西界、考査、三月十日の増加

三月十日の増加、本邦の至西界、考査、三月十日の増加

昭和 年 月 日

西野用箋

昭和 年 月 日

西野用箋

調色ノ紙 紙ノ色ニ生漏ノ異ガリ 十月五日

(重量 100% 以上見テ) トリノ現行価格ニ比シ 一月九日

(六十斤 外ニ莫御モテテ) 一子ノ増トイフ 本年

夏前量ノ似ニハ右ノ費(目録)トスルニ午五時

ノ増ハトテ 貯蓄ノ為ニ一大ノ力

了カノ事ニトテ 款也

昭和 年 月 日

西野用箋

三書出

會社手帳免回收時調

最高額	一月	二月	三月	計
十二月末	一月	二月	三月	計
17,183.40	4,112.00	4,457.00	4,560.00	13,129.00
5,541.40	3,874.00	4,911.00	5,252.00	19,578.00
6,079.00	1,418.00	1,511.00	1,711.00	4,640.00
23,811.40	11,414.00	11,889.00	12,524.00	35,827.00

神宮取以商會為記迄
抄本方

製本手帳免回收時調
製本手帳免回收時調
製本手帳免回收時調

1 領白
2 領白
3 領白
4 領白
5 領白
6 領白
7 領白
8 領白
9 領白
10 領白
11 領白
12 領白
13 領白
14 領白
15 領白
16 領白
17 領白
18 領白
19 領白
20 領白
21 領白
22 領白
23 領白
24 領白
25 領白
26 領白
27 領白
28 領白
29 領白
30 領白
31 領白
32 領白
33 領白
34 領白
35 領白
36 領白
37 領白
38 領白
39 領白
40 領白
41 領白
42 領白
43 領白
44 領白
45 領白
46 領白
47 領白
48 領白
49 領白
50 領白
51 領白
52 領白
53 領白
54 領白
55 領白
56 領白
57 領白
58 領白
59 領白
60 領白
61 領白
62 領白
63 領白
64 領白
65 領白
66 領白
67 領白
68 領白
69 領白
70 領白
71 領白
72 領白
73 領白
74 領白
75 領白
76 領白
77 領白
78 領白
79 領白
80 領白
81 領白
82 領白
83 領白
84 領白
85 領白
86 領白
87 領白
88 領白
89 領白
90 領白
91 領白
92 領白
93 領白
94 領白
95 領白
96 領白
97 領白
98 領白
99 領白
100 領白

昭和 年 月 日

陸 橋 記 録

四百五十分の日、海少の急に、陸橋を有る以て、

四時五分、 $\frac{1}{10}$ 分。三二色。前年と同、五〇%。急

二度、急より、 $\frac{1}{10}$ 分。海少の急に、四百五十分、

四、五、六、七、八、九、

十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百、

二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百、

三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百、

四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百、

西野用箋

昭和 年 月 日

一 般 貨 物 の 運 送 規 則 第 一 章 第 一 節 第 一 條

一 百 七 十 九 條 一 項 各 項 目 及 其 他 運 送 規 則 第 一 章 第 一 節 第 一 條

一 百 七 十 九 條 一 項 各 項 目 及 其 他 運 送 規 則 第 一 章 第 一 節 第 一 條

一 百 七 十 九 條 一 項 各 項 目 及 其 他 運 送 規 則 第 一 章 第 一 節 第 一 條

一 百 七 十 九 條 一 項 各 項 目 及 其 他 運 送 規 則 第 一 章 第 一 節 第 一 條

一 百 七 十 九 條 一 項 各 項 目 及 其 他 運 送 規 則 第 一 章 第 一 節 第 一 條

一 百 七 十 九 條 一 項 各 項 目 及 其 他 運 送 規 則 第 一 章 第 一 節 第 一 條

西野用箋

昭和 年 月 日

(3) 石塚現業初元(三十日)

受	代理 永令	一、四九九 4日
押		五、五五七
受		五、九三二
支	自取令	四、三〇四 4日
		五、九二
		三、七一〇

五十一日 収 支

収	過 収 金	一、五七七 4日
	組 収	五、五五七
	鉄 道	一、二七一
	業 務 下 代	一、二一九
	手 費	七四〇
支	鉄 道	七、八七
	分 子 収	五、五五七
	本 店 買 上	五、五五七
	石 塚 現 業 初 元 控	五、五五七
	石 塚 新 子	三、五五七

西野用箋

No.

昭和 年 月 日

普通
普通
普通

五、七〇〇円
八、一〇〇円
三、五〇〇円

五、七〇〇円
八、一〇〇円
三、五〇〇円

前年今日

(2) 銀行

普通
普通
普通

七、一〇〇円
三、〇〇〇円
五、〇〇〇円

銀行

前年今日

普通
普通
普通

三、九〇〇円
八、四〇〇円
四、五〇〇円

(2) 前年今日

西野用箋

No.

昭和 年 月 日

新
入 部 員 一 信 部 員 一 喜 友 一 仲

三 十 七 日 引 込 書 付

西野用箋

巴月中金融報告

概況

月初積之不振、下リシ預金ノ増加ハ平均ニナリテ

株債ノ伸張ヲ示シ、銀行預金中、収ノ順調ハ如

支店次長

後、多額ノ行ノ手許ノ蓄積、調停ヲ加フルニ至レリ

他方、貸出ノ増進ヲ見ルニ、政府ノ強迫、信用資金ノ

不足ニ中々意を盡シ、況、在リテ、揚子ノ恒

河ノ限、補給資金ニホク、本格的な需要ニ至ラズ、概シテ

好景況ニシテ、アリンカ、月、初、来、~~本~~

(一三、六、〇〇〇、〇〇)

右項、投資ニ拠リ、金利ハ平均シテ、本意ニ至ラズ

18. 5. 1

斯ノノ月中乃爲、海出ニ九百七十万日ノ一、前年同期

比ノ三、五、十、百、日ノ増加ニ至リ

船工ノ如ク、増加ノ令理ニ、船少ニ、通貨ノ減退、船工

ノ高、多、中、旬、末、銀行、幣、ノ、是、起、ハ、六、百、五、十、万、日、ト

前年同期ニ比、百、十、七、万、日、ノ、増、加、ヲ、示、ス、ル、ハ、注、目、ト

要、ス、ル、所、ト

以下旬別ノ概観云々

上旬、五、万、日、ト、引、揚、百、十、万、日、ノ、通、貨、ノ、増、加、ト、目、録、ト

又、通、貨、ノ、増、加、九、十、万、日、中、二、三、万、日、ト、三、百、十、五、万、日、ノ、印、紙、ト

三、一、三、百、七、十、万、日、ト、通、貨、率、總、理、ト、批、評、ト

中甸の銀行等々多き今此種式相違い金及本利圓俵

券は大口要ありたり此種式相違い金及本利圓俵

超過は轉したるに金融金融債上トレリ人本利

新年所為は為る清化多し年部々之をト建函

之をト建函トレリトレリトレリトレリトレリトレリ

下甸人前中子所為ト建函トレリトレリトレリトレリ

金ノ轉如純化多しト月未出函場金ノ要

中甸の銀行等々多き今此種式相違い金及本利圓俵

金融債上トレリトレリトレリトレリトレリトレリ

(一) 預金

二十日現在	前月末比
当預	四三、九二八
特為	八九、九八七
定期	一五三、九一五
其他	三〇、二〇五
計	三、八〇五
	八、八三二

年終未受増ノ余勢ヲ察シテ、現金種ノ

百六十万円ノ大口預金ヲ省大存案製案ニ依ルニ

方面ヨリノ繰り上げ預金ノ相隨キ、月中預金ノ伸張

率シテ二十日迄ニハ百八十三万二千円ト前年同月期

比シテ百九十三万四千円ト激増シ、直月金融引換

此方圓は、東京支店ノ需索ニテアリシ物

二 貸出

期	貸出		戻り	
	本年	前年	本年	前年
12月末日	17,813.00	5,541.40	60.9%	22.8%
1月末日	15,252.00	7,377.00	54.1%	30.4%
4月末日	3,730.00	4,140.00	22.0%	17.0%
計	36,795.00	17,058.40	17.6%	40.3%
前年同期比増減	21,543.00	11,517.00	100.0%	100.0%

製糸業不振、手許原料高騰、是れ減産の中、製糸業の大半
 本月一杯、以テ強ト挽回シタルハ、觀アリ、素日並シ
 繼續シ得ルハ、大製糸業ノ一部ニ過クハ、ナラズト

際測也、先行不足、是に覺し、瓶ノト尺ヲ、樽ノ量也

節ノ貫通、之ノ象況、各好調、ヲ呈シ、タリ、ヤ、二十日迄ノ

製、奉、次、金、ノ、回収、は、百、七十、五、分、目、ト、前、年、同、期、三、割、二、分、に

ナリ、是、故、に、即、チ、本、業、年、製、造、金、社、ニ、対、シ、株、式、社、迄

金、之、充、當、さ、し、白、アリ、タ、リ、存、在、ス、ル、ニ

業、年、製、造、金、社、ノ、創、立、後、金、社、ハ、三、十、六、日、界、限、一、年、目、ヨ、リ

事、業、ヲ、開、始、ス、ル、コ、ト、ナ、リ、タ、リ、各、事、業、引、込、一、年、他、法、手、続

ノ、開、始、ス、ル、方、々、月、同、ニ、時、事、業、製、造、年、ヲ、行、ハ、シ、ル、コ、ト、

上、程、程、多、少、生、年、ノ、改、善、即、同、ニ、為、令、ニ、現、行、ヲ、改、善、ス、ル

全一ノ如 ✓

一般管出方面ノ尺ハ恒例的ニ五ノ九ノト等ハ本一取

圓俵百丁方日(而設俵法金四七二方日) 俵能製不果圓俵

七十三方日 子防系圓俵五十七方日 平均新製

管出上多屬系製不造 命社ニ討者 俵式如造 管出

三百五十方日ノ故也 之ヲ以 該白法引ニ從テ 三百十五方

日ノ如ハ 之ヲ

管出好ト能ハ口 井屋系製不造 命社ニ討者 俵式如造 管出

如造

押上製出計七五〇〇〇方日

中史調造 二〇〇〇〇方日

地元調造 五五〇〇〇方日

西管木製 三〇〇〇〇方日

自己製 三〇〇〇〇方日

(三) 本邦米穀市情 — 米価引上

十一年初目標	實收高	作付面積	反為收獲量
一、七八一、九千石	一、七〇〇、三九八石	七三、二九七町一反	二、五三、一五〇千石
倍出割合	比前年九一〇月平均現存倍出割合 八七・〇%		
全五「一、六三九千石	六六、七七五、八三〇石	五、一八〇、五〇三町一反	二、五九、九千石
倍出割合	四一、〇〇〇、〇〇〇町一反	倍出割合 八八・〇%	
十一年初目標	一、八二五、九千石	全五「一、七、五九〇千石	

十一年初、米穀市情、然ニ米価引上且肥料、労力、費材ノ不足等

米多ノ要俸俾産量ニシテ為一時長ノ増産ヲ促シタルカ

利為目標額ニ付シて力五%減ニ喰ニ止メタルニ一

米穀市情、即ト云ヒ一 右ニ付テ米穀、米穀ノ倍出割合

蓄積金、四四九、七十五分、上金、五十年、約七、二、二%。三比、ノ、莫、ク、

低位、十、分、長、の、蓄、積、金、(三、分、十、分、)ニ、比、シ、未、作、也、常、ノ、格、

少、十、二、分、五、回、ノ、年、初、集、展、開、ス、ル、名、候、未、迄、却、ニ、現、ノ、

一、台、機、要、給、之、最、ニ、會、要、ス、ル、回、數、上、三、回、目、也、ス、ル、計、

十、分、好、下、之、格、三、九、二、回、ヨ、リ、一、日、迄、ノ、回、同、ノ、報、知、必、謹、修、

未、完、迄、是、同、ノ、上、等、集、後、ノ、候、書、送、却、ノ、書、院、。 十、五、日、迄、

本、書、館、に、寄、附、ス、ル、書、院、ノ、一、七、三、三、%。ト、本、夕、金、五、年、始、ニ、考、セ、サ、ル、

(五、九、)

如、斯、ク、十、分、ノ、即、ク、候、。 概、法、シ、ン、タ、ル、向、ニ、マ、リ、テ、日、始、既、

一、意、味、ハ、最、軍、國、報、イ、リ、ト、見、ラ、ル、

本館、所安是正、之、之、要請也、之、之、限り、之、之、之、

台體、管理、委員、會、之、之、之、之、之、之、之、之、

引上、可、也、之、之、之、之、之、之、之、之、

自作、累、の、設、置、行、張、他、等、二

婦、亮、一、好、影、響、者、之、之、之、之、之、之、之、

何、也、未、之、七、十、五、万、石、上、之、之、之、之、之、之、之、

函、附、不、他、令、之、之、之、之、之、之、之、之、

昂、切、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、

既、遂、其、之、之、之、之、之、之、之、之、

引当金 (右あり)

自作 三月五日 * 政府、官舎の買入債 六月五日

自作 三月五日

自作

自作 三月五日

自作 三月五日

消費生活協同組合 三月

* 消費生活協同組合 四月

* 公共料金滞り 四月五日

(白) 小額債券買上処理

平日貯蓄

貯蓄

現金

郵銀貯蓄

郵銀貯蓄

三月五日

郵銀貯蓄

郵銀貯蓄

三月五日

貯蓄

貯蓄

三月五日

十日より銀行へ組立貯蓄、当債券の買上処理 三月五日

一 部 骨 髓 凡 諸 行 業 中 必 有 一 部 而 上 多 算 分 與 細 二

之 一 收 入 之 總 算 也 凡 見 算 分 之 多 少 必 以 算 上 之 數 之 多 少

之 一 算 分 之 多 少 必 以 算 上 之 數 之 多 少 為 準 也 凡 算 分 之 多 少 必 以 算 上 之 數 之 多 少

之 一 算 分 之 多 少 必 以 算 上 之 數 之 多 少 為 準 也 凡 算 分 之 多 少 必 以 算 上 之 數 之 多 少

之 一 算 分 之 多 少 必 以 算 上 之 數 之 多 少 為 準 也 凡 算 分 之 多 少 必 以 算 上 之 數 之 多 少

之 一 算 分 之 多 少 必 以 算 上 之 數 之 多 少 為 準 也 凡 算 分 之 多 少 必 以 算 上 之 數 之 多 少

之 一 算 分 之 多 少 必 以 算 上 之 數 之 多 少 為 準 也 凡 算 分 之 多 少 必 以 算 上 之 數 之 多 少

五、五海現金部 (三十一日現在)

代理 五海 自派令

九二五三 九日

九一四八 三九二

一、夏規

1033

1171

過租金

五二〇七

農林道

1174

鐵道收入

六七三六

鐵道 柳

1146

租稅

1146

障 板

七九一

合管

1180

本家 買上

1144

専賣收入

1136

口部 運管

1157

五十一 収 支

(六) 乃 曹 (日 末)

海文	七三〇.四	五九〇.四
海出	九七〇.〇	七四〇.〇
古銀	二四二〇	一四九〇

七. 銀行 戶 (日 末)

普通	三〇四七.四	三九七二.四
還收	八四六.一	八三二.四
還銀	五四一.四	五三二.四

新

一、十、特、金、銀、海、出、海、入、總、會、算、帳、院、制、規、定、呈、報、

一、十、特、金、銀、海、出、海、入、總、會、算、帳、院、制、規、定、呈、報、

52 ✓

五日の貸付概況

支店長 

次長



概況

月中、支店に貸付金100万円、御用金100万円、流平

金200万円、六月三十日、九月三十日、十月三十一日

二百拾萬四千圓、増加、平年セルニカ、縣聯

才、農耕、貸付、需要、平年セルニカ、為

五月、六月、好調、持流セル、青森、取、人

銀行、預金、奉、月、二、増、勢、稍

純化糖 其ノ増加 宛ニ 三月ニ 比シ

五百拾壹万五千圓ト

總計百七拾壹万七千圓 本年一月比 五百四

拾六萬零千圓ト 大甲 減少ヲ 示セリ

サレトモ 糖質重 田中 依然一 噸 請ニ 出リ

月中 田中 宛 總計 百拾萬九千圓 漲高

壹千壹百四拾壹萬九千圓ト 取口 依然一 噸

五百三拾千圓

高リ 記録セル 才 壹月ニ 年一 中ニ 爲シ

本 教 委 員 会 二 月 日 星 二 年 新 規 貸 入 出 入 額